

中区 バリアフリーの児童書紹介

浜松市中区の静岡文化芸術大で7日、「世界のバリアフリー児童図書展」(同大主催)が始まった＝写真＝。視覚障害があっても楽しめる絵本や障害に理解を深める本など約50冊を集めた。10日まで。



世界中で子どもと本をつなぐ活動をしている国際児童図書評議会(IBBY)が、各国で出版された図書を選定した。点字で書かれ、綿や毛などで手触りを楽しめる絵本や、障害について書かれた一般作品など来場者の注目を集めている。

同大文化政策学部の林左和子教授は「バリアフリーな本が必要な人や関係者に、こうした図書の存在を知らせたい」と話した。

午前11時から午後7時まで。入場無料。